

1 調査内容

部活動の遠征等における移動の実態及び安全管理体制等について

2 調査対象

県立学校91校で遠征等を実施した全ての運動部及び文化部（サークルや同好会等を含む）

3 調査対象とした遠征等

- (1) 県外大会（コンクールを含む）
- (2) 県内大会（コンクールを含む）
- (3) 大会以外の県外遠征（練習試合や合宿等を含む）
- (4) 大会以外の県内遠征（練習試合や合宿等を含む）

4 調査対象期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

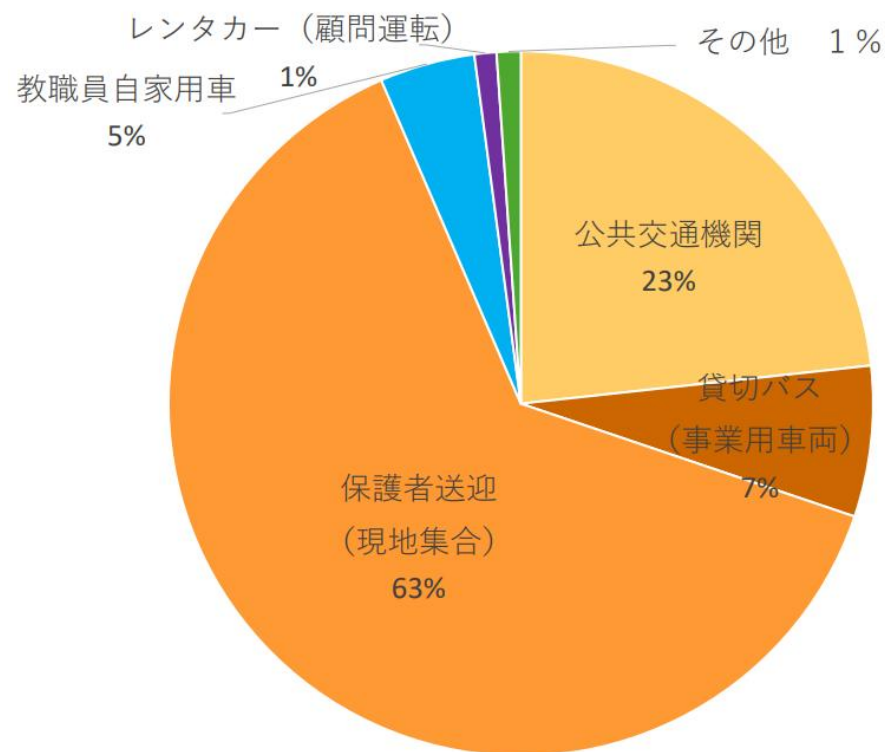
5 調査項目

- (1) 遠征等の実施回数及び移動手段、経費負担について
- (2) 業者（バス会社等）との契約形態について
- (3) 安全確保・安全管理について

6 調査結果

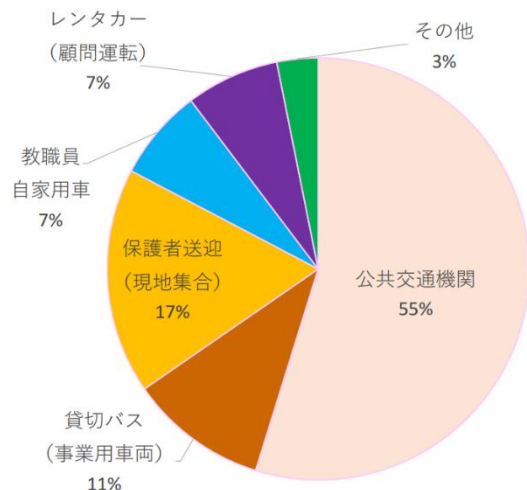
○遠征等を実施した学校は75校
（高等学校66校、特別支援学校7校、中学校2校）

○全体の実施回数：16,238回

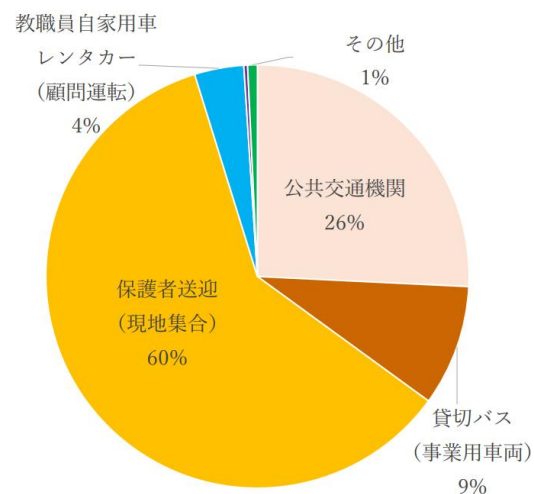


「部活動の遠征等における移動手段等に関する実態調査」の結果について

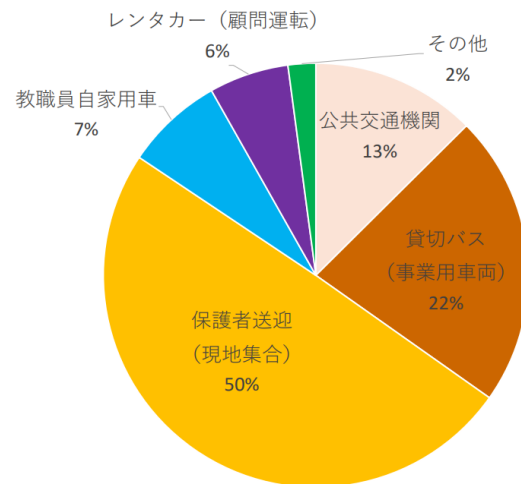
(1) 県外大会(コンクールを含む) 実施回数:699回



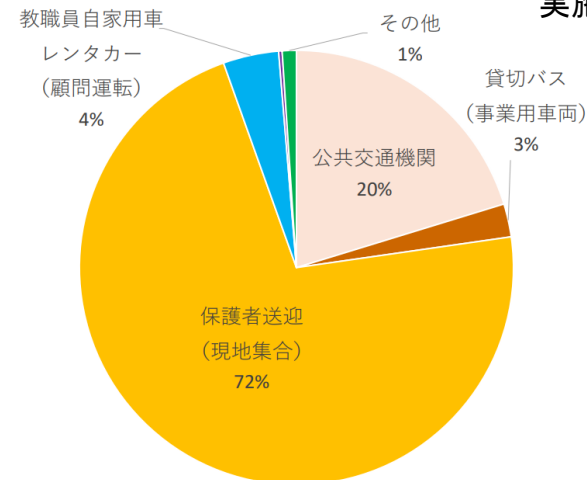
(2) 県内大会(コンクールを含む) 実施回数:6,218回



(3) 大会以外の県外遠征(練習試合や合宿等を含む) 実施回数:1,236回



(4) 大会以外の県内遠征(練習試合や合宿等を含む) 実施回数:8,085回



7 調査分析

(1) 移動手段の傾向(全体)

- ・公共交通機関・貸切バス・保護者送迎(現地集合)による移動が93%

- ・教職員自家用車やレンタカー(顧問運転)による移動が6%

＜理由＞

目的地までの公共交通機関が整備されていない

少人数のため、バスの手配が困難な状況

試合開始時間が早く、公共交通機関では間に合わない 等

(2) 業者(バス会社等)との契約形態について

- ・バス会社に依頼した学校は53校

(高等学校50校、特別支援学校1校、中学校2校)

- ・電話による口頭での依頼や、事前の見積徴収を行わずにバスを依頼していた等の学校が8校

- ・いわゆる「白タク」行為に該当する事例はなかった

(3) 安全確保・安全管理について

- ・対象となる全ての学校(75校)において、安全確保や安全管理が図られていた

(保護者からの承諾、遠征等実施における管理職の確認、危機管理マニュアルに基づいた対応)

(4) 経費負担について

- ・保護者負担が多くを占めており、生徒会遠征費や部活動後援会費、高体連等の外部からの補助金等の負担もあった

8 今後の対応について

(1) 部活動等における遠征時の移動については、生徒の安全確保を最優先とした上で、令和8年5月12日付けで発出した通知に基づいた対応がなされるよう、各学校に対して周知・徹底を図っていく。

(2) 令和8年6月30日付けで、国から通知が発せられたことから、他自治体における対応なども参考にしながら、現行のガイドラインの見直しなどにより、より安全で持続可能な部活動環境の整備に努めていく。